

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年9月18日(2024.9.18)

【公開番号】特開2023-22991(P2023-22991A)

【公開日】令和5年2月16日(2023.2.16)

【年通号数】公開公報(特許)2023-031

【出願番号】特願2021-128124(P2021-128124)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月9日(2024.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有利状態に制御可能な遊技機であって、

有利状態に制御されることを報知する第1結果と有利状態に制御されないことを報知する第2結果を表示可能な特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記第2結果が報知された後に、複数の所定画像のうち、一の所定画像を用いた所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、

可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、を備え、

前記特定演出実行手段は、

前記特定演出として、第1特定演出と、該第1特定演出よりも有利状態に制御される期待度が高い第2特定演出と、を実行可能であり、

前記所定演出実行手段は、

前記所定演出として、前記所定画像のうち、第1所定画像を用いた第1所定演出と、前記第1所定画像とは異なる第2所定画像を用いた第2所定演出とを実行可能であり、

前記第1所定演出を実行する場合よりも、前記保留記憶手段に記憶された保留記憶に対応した可変表示において、前記特定演出が実行される割合が高くなるように前記第2所定演出を実行し、

可変表示において前記第1特定演出を実行する保留記憶が、前記保留記憶手段に記憶されている場合よりも、可変表示において前記第2特定演出を実行する保留記憶が前記保留記憶手段に記憶されている場合のほうが、前記第2所定演出を高い割合で実行し、

前記第2結果が報知された後、前記第1所定演出又は前記第2所定演出を実行する場合に、第1所定音を出力する場合と、第2所定音を出力する場合と、前記第1所定音及び前記第2所定音を出力しない場合とがあり、前記第1所定音及び前記第2所定音を出力しない場合よりも、前記第1所定音又は前記第2所定音を出力する場合の方が有利状態に制御される期待度が高い、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

40

50

## 【補正の内容】

## 【0006】

(A) 有利状態に制御可能な遊技機であって、

有利状態に制御されることを報知する第1結果と有利状態に制御されないことを報知する第2結果を表示可能な特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記第2結果が報知された後に、複数の所定画像のうち、一の所定画像を用いた所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、

可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、を備え、

前記特定演出実行手段は、

前記特定演出として、第1特定演出と、該第1特定演出よりも有利状態に制御される期待度が高い第2特定演出と、を実行可能であり、 10

前記所定演出実行手段は、

前記所定演出として、前記所定画像のうち、第1所定画像を用いた第1所定演出と、前記第1所定画像とは異なる第2所定画像を用いた第2所定演出とを実行可能であり、

前記第1所定演出を実行する場合よりも、前記保留記憶手段に記憶された保留記憶に対応した可変表示において、前記特定演出が実行される割合が高くなるように前記第2所定演出を実行し、

可変表示において前記第1特定演出を実行する保留記憶が、前記保留記憶手段に記憶されている場合よりも、可変表示において前記第2特定演出を実行する保留記憶が前記保留記憶手段に記憶されている場合のほうが、前記第2所定演出を高い割合で実行し、

前記第2結果が報知された後、前記第1所定演出又は前記第2所定演出を実行する場合に、第1所定音を出力する場合と、第2所定音を出力する場合と、前記第1所定音及び前記第2所定音を出力しない場合とがあり、前記第1所定音及び前記第2所定音を出力しない場合よりも、前記第1所定音又は前記第2所定音を出力する場合の方が有利状態に制御される期待度が高い、

ことを特徴とする。

20

20

30

40

50